



尚々詳細に面語の上開伸
可仕候間上京、恩命の位
テ后為らる申述候位

謹而一鞠夫中呈仕候

時下酷暑之候若々

御達勝國家之為

め精神勵、段奉

恐察候

陳者、今面時運之

急激進西遷之若

念、政黨内閣

之美、昔年我見、

好機に接し、不肖

依然、今、年、の、終

是、の、婦、も、所、に

知、り、げ、り、茲、に、一、書

と、草、し、思、念、筆

以、願、ひ、ま、す

八、重、忠、意、の、為、に

勇、氣、を、唱、ひ、併、せ

是、を、強、固、と、す、

新、開、の、成、立、に

期、し、祈、り、祝

意、心、を、表、し、ま、す

期一厥の祝
苦心を志すもの
と云ふべし

然るに石やふ... 東が天
下の同志と會同し

公議... たるは
日政進主義を賛

同く遠く明台下を
敬慕す... たるは

既前年外務大臣
の重任の都度祝

文を賜呈致し
将... 秋

閣下遺難の前此
を百憂を感し

深注進みのが
長久のを望み

たるは

無... 所再が外務

故... 閣下の業轉

と祝... たるは

情を感... たるは

義... 宣

樂者曰情と徳
義と云ふは
十年一日の如く嘗て
冒さずありて
と同情曰義と云ふは
吾も樂を以て
今日に至るは
して天下に
あつても知らず
今や世に
自ら
に接して
は
ある所を
と

自今閣下の道
左の條件申す
位を授け
候は
進退も
閣下の
と云ふは
破れ
た
望む所
多し
請願
西女
新内閣
事務農商務

西女幼之左

新内閣組織案
外務農商務通
信ノ各省中
員ノ欠之ア
上ノ恩命
推
多
任
何
事
務
及
之
清
解
員
は
特
任
候
人
其
局
務
は
從
事
ス
ル
ベ
ク
也
但し時宜依りテ大藏省及
文部省中ノ要務モ兼及ル

丁ヲ詳セザル所ナリ

ニ然レテ不カ
未本官

及至同セシムル一因
ハ
逸人故氏既

二十一年中ヨリ中書院
議員櫻井伊兵衛
ノ執事ヲ勤メ生在中

同議員ノ立法顧問也
彼トシテ勸諭中一

運議案ヲ呈シテ
一動シテ通過セシム

証書ニタル者アリ曰
府縣勸業委員會

設立建議案アリシガ
惜イテ因人生前中

提呈シテ遂ニ之ヲ不
承テ議會ヲ期シ

カ使一人ニテ請願書
シテ貴院兩院ニ呈

出セシモ如何也
福大義井前様

議會休會後
本議ヲ通シ

亦委員等ノ採用セシ
止リ其後中

止リ其後中

出せしを妙何れしは時足
福大義非前様は降
議會体人會後終
本議の通るはるる
亦必る會者、採用せし
止り其の候中止は女
ト云ふは、戻りて者之ア

右に在り不者の積年
宿願よりし殖産之業
一概死つ仕度候也し
累年あるより其勸業
委員之會の設き、主音
該請願書、明り
致し、候、故に不
任官の、此の、通商
貿易の、修業、所、主
全國勸業、其の上、候
平素持てん所、將大
勵意、用、元、双元、表、し、テ
立、任、業、者、及、其、達、り、期
也、ト、ス、ル、に、
一、先、二、定、地、修、業、所、也、
昨年、農商、部、少、目、
高、野、元、會、事、務、局、
織、物、美、術、工、業、局、
作、次、具、科、ト、シ、
數十種、提出、せ、し、
以上、昨、年、中、止、定、地、修、業、所、
所、に、之、ア、
七月、二十、日、
外務、省、
梅澤、仙、之、助、
信、殿、閣、下、

進伸 不肖流い曾て積年
女子ノ實業教之月上ニ関シ
大井ニ將大勵ヲ試ミツカリ猶
進コテ上下共同ノ事業ヲ奨
勵シ農業工業商業學校
女子實業學校織染學校
蠶業學校美術學校等
各地ニ設立シ及 貴族婦人
實業學校等ヲ帝都設
置シ以テ立庶業ノ國家ニ必
西女ニテ中貴族ニ説キ以テ
平民ト同一ノ實業ヲ傳習
セシムルヲ今日ノ急務ト斷
認シタリ
而シテ目今ハ單ニ制衣系業
ノ將出勵實業教之月上ノ將出勵
ニ進中ニ行ケル



親展閣下
務大臣伯爵大隈重信殿



口
糸
分
等

目
工
女
名

長野縣埴科郡
寺尾村大字牧島任
平民
榎澤仙之助
目今ハ
表地ノ地
情郡中ナリ



東京尊上

務大臣伯爵大隈重信殿

親展

閣下



三十一年七月廿一日投函

長野縣南佐久郡青沼村
字十日所大成社創立系所
日向傳吉方

柳澤仙之助

